

全国醤油工業協同組合連合会

(Japan Federation of Soy Sauce Manufacturers Cooperatives)



団体の概要

概要及び設立時期

全国醤油工業協同組合連合会は、中小企業等協同組合法に基づき、昭和37年に設立。

目的

会員及びその組合員の相互扶助の精神に基づき、必要な共同事業を行い、もって自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図るため、

- ① 醤油及び原材料の共同購入・生産・購買・保管・運送並びに斡旋に関する事業
- ② 醤油及び醤油加工品の市場開拓
- ③ 経営及び技術の改善向上、知識の普及を図るための教育及び情報の提供等を実施する。

代表者

代表理事会長 正田隆

会員

各都道府県 醤油業を営む事業者で組織された46協同組合と、2 協同組合連合会の**全48会員**※。会員傘下には、約1,000社が所属。

※令和7年3月31日時点

主な取組

輸出ターゲット国・地域の市場・規制調査

- ・ 米国、東南アジア、欧州（フランス等）における市場概況、消費動向等を調査し、結果を会員に周知

海外等における販路開拓活動

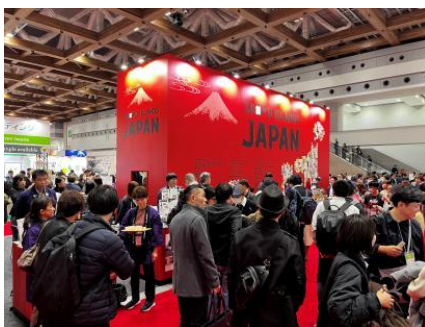
- ・ "SHOYU ISLANDS JAPAN"のテーマの下で、海外・国内の展示会に出展、併せて、展示会に必要な販促グッズ等の広報に必要な資材の作成・配付及び商談サポート等のコンサル活動を実施

輸出手続や商談等の専門家による支援

- ・ 組合員を対象とした輸出支援セミナーを実施



タイ試食商談会の様子
(令和6年5月)



FOODEX JAPAN 2025
(東京)に出展した時の様子
(令和7年3月)



輸出支援セミナーの様子
(令和6年6月)

(全国醤油工業協同組合連合会からの聞き取り等を基に農林水産省が作成)